

新日鉄、宝鋼、アルセロールが自動車用鋼板製造・販売の合併会社を設立

新日鉄と宝山鋼鉄株式会社およびアルセロール社は、12月23日自動車鋼板を製造・販売する合併会社を宝山鋼鉄構内で設立する合併契約書を締結した。新日鉄・宝鋼は昨年7月意向書を締結し、アルセロール社もその意義を高く評価し参加が決定した。2005年5月に生産開始予定。

合併会社の競争力の強化と市場での卓越した地位の確立への大きな貢献が期待される。また、自動車用高級鋼板のグローバル供給体制が整い、自動車メーカーへの対応とともに、中国の鉄鋼および自動車産業の発展に大きく寄与する。

(概要)

- ・合併会社名
中国名：上海宝钢新日鉄汽車板有限公司
日本名：上海宝钢新日鉄自動車鋼板有限公司
- ・出資比率
宝山鋼鉄株式会社：50%、
新日鉄：38%、アルセロール社：12%



ニッテツスーパーフレーム工法、3階建て耐火建築物用部材および設計法を発売

新日鉄は、ニッテツスーパーフレーム工法による3階建て耐火建築物の建設用の設計法および部材を開発し、販売を開始した。ニチハ(株)と壁・床パネルの共同研究開発を実施し、屋根・外壁・内壁・床の耐火構造の国土交通大臣認定および3階建て建築物を可能とする構造設計法の

(財)日本建築センター評定を取得した。薄板軽量形鋼造による3階建て以下の耐火建築物の建設が可能となる。

ニッテツスーパーフレーム工法は「快適性・省エネルギー性」が認められ、2階建て住宅を中心に大きな成長を遂げてきた。今回、大都市圏

における建て替え、グループホームなどの老健施設、都市型店舗など、耐火構造および3階建て建築ニーズに応える、画期的な工法となる。

お問い合わせ先
薄板営業部住宅建材開発グループ
TEL 03-3275-6634



台湾・中国鋼鉄 (CSC) 向け、ピレット用加熱炉およびCDQを受注

新日鉄プラント事業部は、台湾・中国鋼鉄 (CSC) からウォーキングビーム式ピレット用加熱炉設備およびコークス乾式消火設備 (Coke Dry Quenching equipment

/CDQ) を受注した。加熱炉設備は、日欧プラントメーカーによる厳しい競争の結果新日鉄が受注し、2005年8月稼働予定。CDQは、CSCの製鉄所および

近隣の環境保全・整備の一環。新日鉄は韓国POSCO向け (新設5基) 中国武鋼向け、首鋼向けと連続受注しており、累計納入・受注実績は新設38基改造6基と合計44基で、

この分野におけるトップサプライヤーとなっている。

韓国初のガス化溶融炉プロジェクトに、新日鉄方式が採用

新日鉄は一昨年、韓国POSCOのエンジニアリング子会社POSCO E&C社にごみ直接溶融炉技術をライセンス供与したが、この度POSCO E&C社はヤンサン市ごみ処

理施設建設工事プロジェクト (施設規模200t/日) を受注した。韓国でのガス化溶融炉の初受注は、世界最多の稼働実績を誇る新日鉄シャフト式ガス化溶融炉の信頼性が

高く評価されたもので、2006年秋頃の完成予定。今後韓国ではガス化溶融炉の設置が増加する見込みで、同社を積極的にバックアップし、さらにアジア、欧州などへの環境ビジネス

展開も進展させていく。

お問い合わせ先
環境・水ソリューション事業部
TEL 03-3275-6185

中国に、橋梁用ワイヤ製造・販売の合併会社を設立

新日鉄と東京製綱(株)は、中国江蘇省で橋梁用ワイヤの製造・販売等を目的とする合併会社「江蘇東京製綱有限公司」を設立する。2004年6月頃から工場の稼働を開始する。中国

国内で膨大な橋の建設が見込まれることから、橋梁用ワイヤを東京製綱(株)の技術で製造し、集束会社のJFNC経由で需要に応える。

- ・出資比率：新日鉄10%、東京製綱30% 江蘇双友空調安裝有限公司40%、江蘇法爾勝新日鉄製鉄鋼索有限公司 (JFNC) 20%。
- ・年産1万4,000t、初年度売上約6億円

お問い合わせ先 棒線営業部 TEL 03-3275-7738

八幡、電子化でマニフェスト管理を強化

八幡製鉄所はマニフェスト管理 (*) を強化するため、マニフェストの発行と電子マニフェストを連結する独自システムを導入し本格運用を開始した。構内の排出工場・収集運

搬業者・処分業者がweb上でマニフェストデータを共有化し、発行~管理を一貫して行う。不法投棄の抑止力としての活用が期待され、データの一部は (財) 日本産業廃棄物処理振

興センターが運営する国の電子マニフェストとも連動して運用される。

(*) 産業廃棄物処理を外部に委託する際、義務づけられている管理表に「排

出」「運搬」「処分」を行う各主体が必要事項を記入し、5年間保管する。

お問い合わせ先
環境部
TEL 03-3275-7567・6706

新日鉄コンサート

3月放送予定 毎週日曜日22:30~23:00 ニッポン放送

- 7日 紀尾井シンフォニエッタ東京
ハイドン：十字架上のキリストの最後の7つの言葉 Hob.XX-1A
指揮：ゲルハルト・ボッセ
 - 14・21日 プロミシング アートシリーズ第103 中鉢 聡：テノール
ヴェルディ：歌劇「リゴレット」より「女心の歌」
ブッチーニ：歌劇「トスカ」より「妙なる調和」「星は光りぬ」ほか
 - 28日 美しい日本の歌 波多野 睦美：メソソプラノ 野平 一郎：ピアノ
清瀬 保二：やはらかに 別宮 真雄：さくら横ちょうほか
- 一部地域により、放送局・放送時間が異なる場合があります。

紀尾井ホール

3月主催公演情報から

- 20日 現代邦楽・創造の軌跡 (16)
肥後 一郎・西村 朗の邦楽作品
曲目：「白拍子」「咒言歌」「蛭」「瑠璃琴」ほか委嘱作品
出演：友淵のりえ (歌・箏) 野坂恵子 (二十絃箏)
深海さとみ (箏) 赤尾三千子 (笛)
吉村七重 (二十絃箏) 小島美子 (解説)

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：紀尾井ホールチケットセンター
TEL 03-3237-0061 受付10時~19時 日・祝休 <http://www.kioi-hall.or.jp>



新日鉄とPOSCO、豪州原料炭ジョイントベンチャーで操業統合

新日鉄と韓国POSCOは、両社の戦略提携の一環として、原料炭の安定調達のため炭鉱の競争力強化と供給力拡大を狙い、豪州で2社が出資する炭鉱の操業を統合する。統合する「ワークワース炭鉱」(新日鉄出資・生

産能力約700万t/年)と「マウントソーリー炭鉱」(POSCO出資・約500万t/年)はニューサウスウェールズ州で南北に隣接し、コークス用非微粘結炭・一般炭を産出する。いずれもリオ・ティント社(C&A)が筆頭のジ

ョイントベンチャーで、今回「ワークワース」のパートナー三菱デベロップメント等も協力し合意に至った。操業統合のシンボルとして炭鉱間をつなぐブリッジが2月12日開通し、操業一体化が本格的に開始された。



ワークワース炭鉱

マウントソーリー炭鉱

石炭のクリーンな利用技術開発に参画

新日鉄は、(財)石炭利用総合センター(CCUJ)が資源エネルギー庁より受託した石炭のクリーンな利用技術(クリーン・コール・テクノロジー)の開発である「化学原料併産型石炭熱分解技術開発」補助事業に、民間企業2社と共に参画し、開発を推進する。従来開発が進められてきたク

リーン・コール・テクノロジーのCO₂排出量削減や効率向上をさらに推進するため、エネルギーと物質生産システムを融合させた複合型の技術を開発することを目的とする。本事業で開発・実証する「石炭部分水素化反応炉」は当社開発の世界初のガス化炉で、従来に比べ5%以上の

効率向上が見込まれ、石炭転換技術の核になるものと考えられる。今年度から6年間CCUJ事業主体で進められ、当社はパイロットプラントの運転研究や支援研究などを実施する。

お問い合わせ先
新事業開発部 TEL 03-3275-7629

お問い合わせ先
原料第一部 TEL 03-3275-5503

欧州投資家を訪問、藤原常務CFO

11月17~21日、藤原信義常務CFOが欧州で機関投資家約60社に対し新日鉄の業績動向や足下の事業環境などについてプレゼンテーションを行った。投資家より、アジアの鉄鋼需要増による市況・原料価格変動の影響、中期連結経営計画の進捗、上海宝山鋼鉄とのジョイントベンチャー

に高い関心が寄せられた。藤原常務は連結グループ全体でさらなる収益力強化に取り組む強い確信を述べ、活発な質疑応答となった。

わが国では90年代初頭から外国人投資家の日本株式保有比率が増加し、当社も2003年3月までの10年間で約2倍の13%程度まで上昇、さら

に2003年9月末には17%となった。昨年の社長による海外IRに引き続き、改めて海外投資家の強い関心と手応えがあり、今後も確実に実績をあげ、積極的IR活動の展開を図る。

今春のIRスケジュール 3月初旬：2003年度業績見通し発表、IR説明会開催
4月下旬：2003年度決算発表、IR説明会開催



投資家とのスモールミーティングで質問に答える藤原常務(ロンドン)

新S-TEN1、2003年日経優秀製品・サービス賞受賞

新日鉄開発の塩酸に強い「新S-TEN1」が、日経優秀製品・サービ

ス賞の優秀賞(素材部門)に輝いた。同製品が、ごみ焼却設備の補修費用

を大幅に低減することなどが高く評価されたもの。

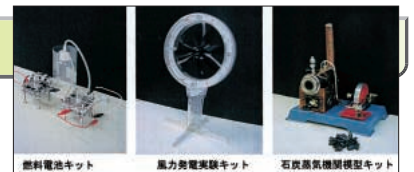
お問い合わせ先
厚板営業部 TEL 03-3275-7160

エネルギー教育用教材キット 好評

(株)日鉄技術情報センターは、神鋼リサーチ(株)と共同で全国高等学校が対象の「平成15年度エネルギー教育用教材キット配布事業」(*)を受託した。教材キット、ワークシートおよび先生用の補助教材。同社は「このキットには、石炭・石油・風

力・水素・原子力という資源エネルギーの歴史と、今日の環境課題を一望できるストーリー性を持たせてあります。次世代を担う若人に、エネルギーや環境に関する興味を持ってもらい、その重要性を認識してもらえれば」と述べている。

(*)資源エネルギー庁が昨年度より学校におけるエネルギー教育の支援強化を図ることを目的に、昨年度より本格的に展開している「エネルギー教育推進事業」の一環。



燃料電池キット 風力発電実験キット 石炭蒸気機関模型キット
燃料見本キット 蒸気機関模型キット 温室効果ガス実験キット 風力発電実験キット 燃料電池キット 原子力発電学習ビデオ から成る。

お問い合わせ先 (株)日鉄技術情報センター TEL 03-3239-4711

タイ初の建設総合展示会「CONBEX2004」に出展

新日鉄は、タイ・バンコク市でアセアン地区初の建設総合展示会『CONBEX2004』(2月12~15日、タイ国工業省主催)に出展した。開催初日は工業大臣が参列し、各ブースを視察。会期中約3万人の来場者を数えた。当社は「スーパーダイヤ

」やバンコクの地下鉄駅に採用された鋼製地中連続壁(NS-BOX)など約20製品を展示、最新の建築・土木用鋼材およびその利用技術をPRした。

タイでは新空港建設や大規模灌漑パイプラインなど大型建設プロジェクトが進行中で、建設用鋼材市場と

して期待が高まっている。今後、新日鉄はアセアン地区での建設需要に積極的に対応していく方針。

お問い合わせ先
海外営業部
TEL 03-3275-7671



スペースワールド通信 “ウルトラマンフェスティバル2004” 3月13日~7月11日 スペースドームにて



©1966,67円谷プロ ©2001円谷プロ・毎日放送

春のスペシャルイベントとして、『ウルトラマンフェスティバル2004』を開催。「ウルトラマンフェスティバル」は、TBSと円谷プロが主催する期間限定のイベントで、今春15周年記念として、九州では21世紀初の開催場所にスペースワールドが決定。夢にまで見た「巨大ウルトラマンの手のひらに乗ることができるコーナー」は、絶好のフォトポイントにもなり、大人も子供も夢中になることでしょう!! 歴代ウルトラマンとライブの宇宙人・怪獣があなたを待っています!

お問い合わせ先
スペースワールド・インフォメーションセンター
TEL 093-672-3600
URL <http://www.spaceworld.co.jp/>

	大人(12歳~64歳)	小人(4歳~小学生)
フリーパス	3,800円	2,800円
	0~3歳・65歳以上の方は無料	